

別紙(三)

昭和十六年度雜誌「日本語」所要用紙	雜誌題號	創刊年月及通卷號數	發行回數及發行日			標準定價	
	日本語	16年4月1日創刊 現在通卷第1卷第7號	每月一回 每月一日			30錢	
	標準發行部數8000部	標準殘品部數500部	標準所要用紙量1,890封度				
	標準(一回)總頁數 八十頁	用紙種類 本文用(上ザラ) 80頁	仕入洋紙店名 大倉洋紙店	A列	連量 40斤	連數 42	封度 1,680
		目次用		A列			
		用紙種類 表紙用(〇模造) 4頁	仕入洋紙店名 株式會社 中井商店	B列	100	2連50枚	210
		一月所要總量					1,890封
	本年度雜誌日本語所要見込數量(昭和十七年一月二月三月)5,670封度						

日本語教育振興會
 東京市麹町區文部省內

別紙(四)

昭和十六年度所要用紙	使用者名	用途	形態	所要枚數	所要時期		所要用紙總量	用紙種類
	日本語教育振興會	語彙調査用	B列5號	120,000	17	115	3,000封度	カ-下用紙 B列200斤
	"	日華辭典編纂用	B列4號	200,000	17	115	3,500	C模造 B列50斤
取引洋紙店 中井洋紙店				合計			6,500封度	

日本語教育振興會
 東京市麴町區文部省內

別紙
(五)

昭和十七年度所要用紙量見込

昭和十七年度本會刊行物所要用紙豫定量ハ本年度所要用紙總量（教科用圖書及ビ雜誌用紙別紙（一）（二）（三）（四）参照）二三三、六九五封度（本年度既刊出版物分一三〇、一一五封度ヲ含ム）ノ五割増、約三十五萬封度ノ見込ニ有之候

月	月	月	月	月	月	同付月日
日	日	日	日	日	日	

日振

發第四一號

定決裁

十二月廿四日

總主事

送發

十二月廿八日

起案者

昭和十六年十二月二十日起案

常任理事



理事

總主事



伺

一、日本語教育振興會刊行物

所用紙申請ニ関スル件

標記ノ件ニ関シ商工省纖維局長ニ對スル本會ノ申請書ノ外ニ興亞院總務長官ヨリ商工省ニ對シテ依頼狀ヲ送達スルノ必要有之ニ付本會會長ヨリ興亞院總務長官宛右依頼狀作成ノ上商工省へ發送方依頼相成可然哉 併而案文伺上候也

(案文)

年 月 日

日本語教育振興會會長

興亞院總務長官宛

拜啓 時下益々清祥賀上候

曩日振發第三九號ヲ以テ本會刊行物所要用紙

配給ニ関シ御配慮願上候處御敬察用中ニテ関ス

御高配被爲下誠ニ有難ク存候

御高配ニ基キ工商省關係官ト談合ノ結果、本會

ヨリ直接商工省纖維局長ニ對シ右配給方申請致ス

トト相成候ニツイテハ 貴院ヨリ商工省ニ對シ本會公貴院

助成團體ニシテ本會刊行物所用紙ハ對支^{文化}工^又作^又上^又醫^又藥^又要^又

缺カラザルモノナルヲ以テ配給方然ルベク手配相成度旨ノ依頼

狀御送達被為下度此段重而御依頼申上候 敬具

（本會本年度並昭和十七年度刊行豫定所要量ハ別紙(一)(二)(三)(四)ノ通ニ有之又
尚「所用紙配給ニ關スル其ノ後ノ交渉經過」ハ

別紙^(五)通ニ有之

(別紙)(一)

昭和十五年
五月
間
發行
豫定
書目

著者名	書名	形態	本文 頁數	發行部數	發行豫定 年月日	紙 量 封度	用紙種類
文部省	ハナシコトバ 學習指導書上	A列 5號	322	4,000	16 12 30	3,320	綠玉A列40斤
"	" 中	"	326	4,000	16 12 30	3,360	"
"	" 下	"	210	5,500	16 12 30	2,980	"
"	文化讀本 (大學の學生々活)	B列 6號	65	20,000	16 12 30	2,485 650 450	綠玉B列70斤 特ア-ト前部B列100斤 B模造150斤
"	" (さくら)	"	65	20,000	16 12 30	2,485 650 450	"
日本語教育 振興會	支那學童用繪本(十冊)	B列 4號	各 20	各 5,000	17 1 15	8,400	ボスタ-紙B列120斤
"	ハナシコトバ用掛圖	B列 1號	70	1,500	17 2 15	5,800	B模造B列100斤
文部省	日本語讀本卷一 學習指導書	A列 5號	300	4,000	17 2 15	3,100	綠玉A列40斤
取引洋紙店	中井洋紙店				合計	34,130	

日本語教育振興會
東京市麹町區文部省內

371紙(二)

昭和十三年四月間發行決定書目

著者名	書名	形態	本文 頁數	發行部數	發行決定 年月日	紙 張 量	用紙種類
黒田 穂	各種教授法ノ研究	B列 6號	250	3,000	16 12 30	封皮 1,700	印刷紙B列70斤
日本語教育 振興會	東亞ノ言語地理	B列 6號	300	3,000	17 1 30	2,050	"
"	標準口語法	A列 5號	200	5,000	17 2 28	3,250	印刷紙A列50斤
千葉 勉	日支標準音ノ研究	A列 5號	200	3,000	17 3 15	1,000 1,600	印刷紙A列50斤 アトA列80斤
英語教授 研究所	日本語教授法理論	B列 6號	200	3,000	17 3 15	1,360	印刷紙B列70斤
日本語教育 振興會	日本語會話必携	B列 6號	150	10,000	17 3 30	3,400	"
"	日本語會話書	B列 7號	250	10,000	17 3 30	4,550	"
湯澤幸吉郎	動搖ソツハアル 文法上ノ問題	B列 6號	150	3,000	17 3 30	1,010	"
取引洋紙店	中井洋紙店ヨリ				合計	19,920	

日本語教育振興會
東京市總町區文部省內

31) 紙(三)

雜誌題號	創刊年月及通卷號數	發行間數及發行日	標準定價			
日本語	16年4月1日創刊 現在通卷第1卷第7號	每月一回 每月一日	30錢			
標準發行部數 3000部	標準殘品部數 500部	標準所用紙量 1890封度				
標準(一回)總頁數 八十頁	用紙種類 本文用上ザラ 80頁	仕入洋紙店名 大倉洋紙店	A列	連量 40斤	連數 42	封度 1680
	目次用		A列			
	表紙用(0模造) 4頁	株式會社 中井商店	B列	100	2連50枚	210
	<p>昭和十七年 本年度(十月十一月十二月,一月,二月三月) 所要見込數量</p>			<p>【一月所要總量】</p>		<p>1890^{封度}</p>
						<p>17,340^{封度}</p>

昭和十七年度
日本語
所要
用紙

日本語教育振興會
東京市麹町區文部省內

別紙
(四) 昭和十七年度所要用紙量見込

昭和十七年度本會刊行物所要用紙豫定量八
本年度所用量一八九、八三五討度、五割増、約
三十萬討度、見込=有之候

(別紙)
(五)

所要紙配給ニ関スル

其ノ後ノ交渉經過

曩ニ本會會長ヨリ興亞院總務長官ニ對シ本會刊
行物所要紙ニツキ興亞院所要紙トシテ配給ヲ受
ケ得ラルルヤウ取計ヒ方依頼致置キタルトコロ、興亞院
ニ於テハ去ル十二月十七日經濟部主務官鹿子木事務官
ヲ通ジテ商工省纖維局人造纖維課水間事務官ニ右

手配方ヲ依頼セラル、翌十二月十八日右説明ノ夕メ本會
常任理事岡野興亞院事務官・釘本文部省圖書監修
官、商工省ニ水間事務官ヲ訪ヒ、談合ノ結果、本會
會長ヨリ商工省^{直接}纖維局長ニ對シ所要用紙配給方申請
ノ手續後、商工省ニ於テハ一應情報局ニ於ケル用紙統制
幹事會ニ諮リタルメ本會所要量ヲ承認決定シ、
用紙共同販賣株式會社ニ指令シテ配給方取計ヲ

ベシトノ回答ヲ得ナリ。尚、本會刊行物ノ如キ團策上
緊要ナルモノニ對シテハ、恒久的ノ割當量ヲ決定スルヤウ取
討ヒ度所存ナリトノ言明ニ接シタリ。

以上ノ次第ニツキ、商工省纖維局長ニ對シ規程ノ手續

ヲトリ、更ニ興亞院總務長官竝ニ文部次官ヨリ商工省
ニ對スル依頼狀ヲ得テ、外部團體タル本會ノ所

要用紙獲得ヲ策^ヲニ對^スセントスルモノナリ。

日振

發第四二號

定決裁

十二月廿四日

總主事

送發

十二月廿六日

起案者



昭和十六年十二月二十日起案

常任理事



總主事

理事

總主事



伺

一、日本語教育振興會刊行物

所用紙配給申請ニ関スル件

標記ノ件ニ關シ商工省纖維局長ニ對スル本會申請

書ニ加ヘテ文部次官ヨリ商工省ニ對シ依頼狀送達ヲ

必要ト致候ニ付本會理事長ヨリ文部省圖書局長宛

右文部次官ノ依頼狀ニ關シ配意方依頼相成可然哉

併而案文伺上候也

月	月	月	月	月	月	回付月日
日	日	日	日	日	日	

(案文)

年 月 日

日本語教育振興會理事長

文部省圖書局長宛

拜啓 時下益々御清祥賀上候

陳者本會刊行物所要用紙ニ関シ段々関係方面ト交
涉致候結果、貴省外部團體ト本會會長ヨリ商

工省纖維局長ニ對シ右配給方申請致スコトト相成候ニツイテハ、

文部次官ヨリ商工省南島長宛、本會ハ文部省、外部團體ニシ

テ、東亞諸民族ニ對スル日本語教科用圖書ニ關シ^{文部}本省
ノ直接編纂ニ係ルモノ及ビ^{文部}本省ノ意ヲ受ケテ編纂スルモノ
一切ヲ刊行シ右事業ノ全體ヲ文部省ノ指導ノ下ニ
代行スル團體ナル趣旨ヲ認證相成、本會所要用紙
配給ニツキ然ルベク手配相成度旨依頼狀ヲ得度、就
イテハ右文部次官ノ依頼狀ニ關シ御高配被爲下度
此段御願申上候 敬具

追而本會本年度並昭和十七年度刊行豫定

所要量、別紙、通、有之候

(一)
(二)
(三)
(四)

(別紙)(一)

昭和十六年度

前三ヶ月間發行豫定書目

著者名	書名	形態	本文 頁數	發行部數	發行豫定 年月日	所用紙 總量	用紙種類
文部省	ハナシコトバ 學習指導書上	A列 5號	322	4,000	16 12 30	3,320 ^{封度}	綠王A列40斤
"	" 中	"	326	4,000	16 12 30	3,360	"
"	" 下	"	210	5,500	16 12 30	2,980	"
"	文化讀本 (大學の學生々活)	B列 6號	65	20,000	16 12 30	2,485 650 450	綠王B列70斤 特-ト爾面B列100斤 B模造150斤
"	" (さくら)	"	65	20,000	16 12 30	2,485 650 450	"
日本語教育 振興會	支那學童用繪本(十册)	B列 4號	各 20	各 5,000	17 1 15	8,400	ホスタ-紙B列120斤
"	ハナシコトバ用掛圖	B列 1號	70	1,500	17 2 15	5,800	B模造B列100斤
文部省	日本語讀本卷一 學習指導書	A列 5號	300	4,000	17 2 15	3,100	綠王A列40斤
取引洋紙店	中井洋紙店				合計	34,130 ^{封度}	

日本語教育振興會
東京市麹町區文部省內

8/1 (休) (=)

昭和十六年度

開三ヶ月間發行豫定書目

著者名	書名	形態	本文頁數	發行部數	發行豫定年月日	所用用紙總量	用紙種類
黒田 ^山 魏	各種教授法ノ研究	B列 6號	250	3,000	16 12 30	封皮 1,700	印刷紙B列70斤
日本語教育振興會	東亞ノ言語地理	B列 6號	300	3,000	17 1 30	2,050	"
"	標準口語法	A列 5號	200	5,000	17 2 28	3,250	印刷紙A列50斤
千葉 勉	日支標準音ノ研究	A列 5號	200	3,000	17 3 15	1,000 1,600	印刷紙A列50斤 アトA列80斤
英語教授研究所	日本語教授法理論	B列 6號	200	3,000	17 3 15	1,360	印刷紙B列70斤
日本語教育振興會	日本語會話必修	B列 6號	150	10,000	17 3 30	3,400	"
"	日本語會話書	B列 7號	250	10,000	17 3 30	4,550	"
湯澤幸吉郎	動搖シツハアル 文法上ノ問題	B列 6號	150	3,000	17 3 30	1,010	"
取引洋紙店	中井洋紙店ヨリ				合計	18,920	

日本語教育振興會
東京市麹町區文部省内

附紙(三)

昭和十九年度
雜誌
用紙
所要

雜誌題號		創刊年月及通卷號數	發行回數及發行日		標準定價	
日本語		16年4月1日創刊 現在通卷第1卷第7號	每月一回 每月一日		30錢	
標準發行部數8000部		標準製品部數500部	標準所要紙量1890封度			
標準 (一回) 總頁數 八十頁	用紙種類 本文用上ザラ 80頁	仕入洋紙店名 大倉洋紙店	A列	連量 40斤	連數 42	封度 1680
	目次用		A列			
	表紙用(模造)4頁	株式會社 中井商店	B列	100	2連50枚	210
	一月所要總量					1890封度
	一年(昭和十九年)所要見込數量	一期(十月十一月十二月)及昭和十九年一月、二月、三月				18,340封度

日本語教育振興會
東京市麹町區文部省內

別紙

四

昭和十七年度所要紙量見込

尚、昭和十七年度本會刊行物所要紙豫定量
ハ本年度所要量一八九、八三五封度、
五割増、約
三十萬封度、見込。有之候

月	月	月	月	月	月	回付月日
日	日	日	日	日	日	

發第四三號

定決裁

十二月廿四日

總主事

送發

十一月廿六日

起案者



昭和十六年十二月二十日起案

常任理事



理事 長

總主事



伺

一、日本語教育振興會刊行物

所要紙申請ニ関スル件

本會所要紙（機関誌「日本語」所要分ニ含ム）ハ之ヲ一括シテ本會ヨリ直接
 商工省纖維局長ニ對シ配給方申請致ハコト相成ル處曩ニ機関誌「日本語」
 所要紙ニ関シテ之ヲ文部省外部團體定期刊行物トシテ文部省文書課長ヨリ
 情報向用紙統制幹事會ニ申請シアルヲ以テ文部省文書課長ニ對シ右事情諒
 承方ヲ本會理事長ヨリ文部省圖書局長ニ依頼相成可然哉 併
 而案文同上候也

(案文)

年月日

日本語教育振興會理事長

文部省圖書局長宛

拜啓 時下益々御清祥賀上候

陳肴先般本會機關誌「日本語」所要用紙申請ニ関

シテハ御繁用中ニ關ハラズ御高配被爲下有難ク存候

尚本會刊行ノ教科用圖書類所要用紙ニツキテハ其後

關係各方面ト段々折衝ノウヘ商工省纖維局ト連絡仕

機關誌「日本語」用紙所要量ト共ニ本會ヨリ直接

商工省纖維局長ニ對シ右配給方申請致スコトト相

成商工省ニ於テハ情報局用紙統制幹事會ニ諮リシ

之配給方決定ノ筈ニ御座候

就テハ右^{御會ノ上}下^{御會ノ下}關シ暑蒸ニ機關誌「日本語」所用紙配給

申請方ニ付キ御配慮ヲ蒙リ候文部省文書課長ニ對^{於テ}

右經過^{諒取被下}御奉還^{御度}ニツイテハ何卒可然御高

配被爲下度此段御依頼申上候 敬具